

2026年4月22日
能美防災株式会社

能美防災(株)妻沼東事業所敷地内における PFOS 及び PFOA の検出に伴う対応について

能美防災株式会社（本社：東京都千代田区九段南4-7-3 代表取締役社長 長谷川雅弘）は、弊社 妻沼東事業所（埼玉県熊谷市妻沼 5058 番地）敷地内において実施した地下水調査の結果、敷地内の地下水及び排水から、ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）が環境省の指針値（PFOS 及び PFOA の合算値：50ng/L 以下）を超過する濃度で確認されたため、熊谷市に報告しました。

本件は、事業所内の利用計画に先立ち、法令に基づく方法で土壌の状況確認を実施したことを契機としております。その過程で得られたフッ素及びその化合物に関する結果等を踏まえ、PFOS・PFOA 等の PFAS による汚染が懸念されたことから、自主的に追加の分析・調査を実施しました。

現時点で、当事業所では地下 160 m～230 m の帯水層から取水した井戸水を工業用水として利用していますが、当該井戸水中の PFOS 及び PFOA 濃度は、合算値で 1 ng/L または不検出となっております。一方で、当事業所敷地内の浅層地下には、地表から約 18 m まで粘土を含む表土及び玉石混じりの砂利等で構成される第一帯水層があり、当該帯水層から採取した地下水では、最大 43,200 ng/L の検出地点が確認されました。地下水流向の下流側への拡散が懸念されるため、地下水流向や透水性、水質などの調査・分析を行い拡散防止対策の検討を進めております。

また、当事業所の放流口において PFOS 及び PFOA の合算値で一時的に 1,100ng/L が確認されております。さらに、熊谷市立会いのもと、河川等に排出している放流口において弊社排水の水質調査（採水日：2026年4月7日）を実施した結果、PFOS 及び PFOA の合算値で 110ng/L が確認された地点がありました。弊社としては、この結果を重く受け止め、熊谷市の指導・助言を踏まえ、必要な追加調査および対策の検討と実行を進めてまいります。なお、水質汚濁防止法及び埼玉県生活環境保全条例に基づく排水基準は設定されておらず、当事業所の PFOS 及び PFOA の排出は同法令・条例違反には該当しないことを確認しております。

PFOS 及び PFOA は PFAS に分類され、さまざまな工業製品に使用されてきました。しかし、分解されにくく環境中に残留し得ることなどから、日本国内においても、PFOS は 2010 年、PFOA は 2021 年に「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）」

に基づき、製造・輸入等が原則禁止されました。弊社では、以前 PFOS・PFOA を含有した泡消火薬剤（購入品）を用いた消火実験及び検査を実施して使用していましたが、製品の切替えを進めた結果、PFOS を使用した薬剤は 2006 年以降、PFOA を使用した薬剤は 2016 年以降それぞれ使用していません。関係法令順守のもと時代に応じて適切な管理を行ってまいりましたが、過去に消火実験などの際に地下に浸透した可能性は否定できず、その結果地下水に混入しているものと考えております。

【今後の対応について】

近隣住民の皆さまをはじめ関係各位には、ご心配をおかけしておりますこととお詫び申し上げます。弊社としましては、埼玉県及び熊谷市等の関係機関と協議のうえ、適切な対応を検討するとともに、今後の対応状況について、適宜、弊社ホームページ等で速やかにお知らせいたします。お問い合わせに適切に対応するため、下記窓口を設置いたします。

【お問い合わせ先】

能美防災株式会社 広報室

メール：mfe-info@nohmi.co.jp